

住民懇談会を開催しました



小岱工芸館会場



みどり蒼生館会場

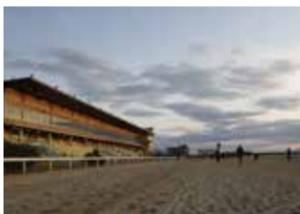


エポック・荒尾会場

市では、10月から11月の2カ月間にわたり、平成25年度「住民懇談会」を市内4カ所で開催しました。市長をはじめとする幹部職員と市民の皆さんの間で活発に意見が交わされました。ここでは、各地区の皆さんから出された意見や提言の一部を紹介します。なお、いただいた意見などについては十分検討し、今後の市政に生かしていきます。

Q 競馬場跡地は住宅地になりうる土地であり、博多にも快速電車で通勤できるなど若者が住みたいと思えるような街になる可能性があります。ぜひ駅周辺の活性化を考えていただきたい。

A 競馬場跡地の有効活用のため、福岡ソフトバンクホークスフアーム球場の誘致（落選）をはじめとするにぎわいづくりや定住促進などいろいろなことを検討しています。駅前が活性化できるよう今後も努力していきます。



Q 外壁が落ちてきている空き家住宅があったので市に通報しました。市からも所有者に通知したが、これ以上のことはできないと言われました。万が一のことを考えると大変危険なので、何か対策はありませんか。

A 危険家屋に関する条例をつくって対応している自治体もあるので、荒尾市も早急に今後の対策を検討しなければなりません。ただし、基本的には所有者個人の問題であり、個人の財産は自分で管理して他人に迷惑をかけるまいということが前提であると考えています。

Q JR荒尾駅でのバスと電車の乗り継ぎはどうなっていますか。

A あらおシティモールから四ツ山方面に向かう早朝便のバスがなかったため、午前6時30分に駅に到着する便を1便増やしました。全ての乗り継ぎに対応することは難しいですが、夜の便のバスも午後8時台まで運行できるようにしました。

Q 乗合タクシーは、複数の人からの電話予約がないと利用できないのですか。

A 一人だけの予約でも利用できますが、予約がないとタクシーは運行しません。



路線バスの再編について

テーマ

路線バスの再編について
地域の課題・その他

たくさんのご参加をいただき、ありがとうございました！

10/16	エポック・荒尾会場	91人
10/18	メディア交流館会場	63人
10/24	小岱工芸館会場	55人
11/29	みどり蒼生館会場	45人
		計 254人



メディア交流館会場

Q 民生委員が見つからず不在のままになっていく地域があります。市役所でも一緒に探してほしい。

A 市も民生委員の力を大いに必要としているため、欠員がないよう最大限の努力をしていきたいと考えています。

Q 八幡地区で災害が発生した場合、菜切川の氾濫が心配です。災害時、住民への避難指示は誰がどんなタイミングで出すのですか。

A 市民の皆さんの判断で避難所に来る自主避難が第一段階です。ただし、災害時に避難が必要であると判断した場合は、市長から「避難勧告」が出されることとなります。

Q 今後、荒尾干潟についての学習などを行うビクターセンターが建設されると聞いていますが、人件費、光熱水費、補修費など年間の維持管理費はどれくらいかかるのですか。市の財政を圧迫しないようにしてほしいと思います。

A 現在、国は「荒尾干潟ワイズユース検討会」を立ち上げ、建設についての検討を行っています。市も地元の負担が少なくなるよう、国にお願いしていきたいと考えています。

地域の課題・その他

Q 以前は市役所でも月1回の「ノーマイカーデー」がありました。今も実施していますか。率先して市役所職員がバスを利用すれば、市民への啓発にもなると思います。

A 以前は「ノーマイカーデー」を実施していましたが、バスのダイヤが合わず見合わせた経緯があります。今回のダイヤ改正により、朝夕の運行時間帯が広がり、通勤・通学に対応できるようになったので、市役所でも11月から「ノーマイカー通勤デー」を実施しています。しかし、自動車が必要な職員は、地球温暖化に配慮したエコドライブなどを行うことになっています。

※ラムサール条約湿地に登録された荒尾干潟のワイズユース（賢明な利用）を行うための有識者などからなる検討会。